

入会申込書

年 月 日



- ・会員種別 (一般会員 ・ 学生会員)
- ・入会金と年会費は郵便振替で ____月 ____日に送金しました
フリガ

1. 氏名 _____ 2. 性別 男 ・ 女
3. 所属機関名・部署

_____ (学生会員のみ、学年____ 学籍番号_____)

所属機関住所 [] 〒 _____

所属機関電話 [] _____

所属機関FAX [] _____

所属機関E-mail [] _____

4. 自宅住所 [] 〒 _____

自宅電話 [] _____

自宅FAX [] _____

自宅E-mail [] _____

5. 協会誌送付先 所属機関 自宅
6. メールニュース受信 所属機関 自宅/ フリーML 希望
7. 分野/立場 エンジニア 医師 PT OT ST
 看護師 教育 指導員 福祉機関職員 学生
 PO その他 (具体的に _____)
8. ご本人あるいはご家族の方に何らかの障害はありますか。
 本人 ・ 家族 (当事者別数の統計調査目的の為)

<事務局連絡用に全ての項目を記載してください>

- ※ 該当する□にレ印をつけてください
- ※ 3. および4. の住所等において会員名簿発行時に掲載を希望しない項目は、各項目の [] に×印をつけてください
- ※ FAXまたは郵送にて協会事務局までお送りください (必要事項が記載されていない場合は他の用紙でも受け付けます)
- ※ メールニュースについては協会HPをご覧ください。
- ※ ご登録 (ご記入) 頂いた個人情報は、本協会の運営および必要な連絡以外には使用しません。また、個人情報は本協会が厳重に管理いたします。詳しくは協会HPをご覧ください。

入会申込書

年 月 日



- ・会員種別 (一般会員 ・ 学生会員)
- ・入会金と年会費は郵便振替で ____月 ____日に送金しました
フリガ

1. 氏名 _____ 2. 性別 男 ・ 女
3. 所属機関名・部署

_____ (学生会員のみ、学年____ 学籍番号_____)

所属機関住所 [] 〒 _____

所属機関電話 [] _____

所属機関FAX [] _____

所属機関E-mail [] _____

4. 自宅住所 [] 〒 _____

自宅電話 [] _____

自宅FAX [] _____

自宅E-mail [] _____

5. 協会誌送付先 所属機関 自宅
6. メールニュース受信 所属機関 自宅/ フリーML 希望
7. 分野/立場 エンジニア 医師 PT OT ST
 看護師 教育 指導員 福祉機関職員 学生
 PO その他 (具体的に _____)
8. ご本人あるいはご家族の方に何らかの障害はありますか。
 本人 ・ 家族 (当事者別数の統計調査目的の為)

<事務局連絡用に全ての項目を記載してください>

- ※ 該当する□にレ印をつけてください
- ※ 3. および4. の住所等において会員名簿発行時に掲載を希望しない項目は、各項目の [] に×印をつけてください
- ※ FAXまたは郵送にて協会事務局までお送りください (必要事項が記載されていない場合は他の用紙でも受け付けます)
- ※ メールニュースについては協会HPをご覧ください。
- ※ ご登録 (ご記入) 頂いた個人情報は、本協会の運営および必要な連絡以外には使用しません。また、個人情報は本協会が厳重に管理いたします。詳しくは協会HPをご覧ください。

入会申込書

年 月 日



- ・会員種別 (一般会員 ・ 学生会員)
- ・入会金と年会費は郵便振替で ____月 ____日に送金しました
フリガ

1. 氏名 _____ 2. 性別 男 ・ 女
3. 所属機関名・部署

_____ (学生会員のみ、学年____ 学籍番号_____)

所属機関住所 [] 〒 _____

所属機関電話 [] _____

所属機関FAX [] _____

所属機関E-mail [] _____

4. 自宅住所 [] 〒 _____

自宅電話 [] _____

自宅FAX [] _____

自宅E-mail [] _____

5. 協会誌送付先 所属機関 自宅
6. メールニュース受信 所属機関 自宅/ フリーML 希望
7. 分野/立場 エンジニア 医師 PT OT ST
 看護師 教育 指導員 福祉機関職員 学生
 PO その他 (具体的に _____)
8. ご本人あるいはご家族の方に何らかの障害はありますか。
 本人 ・ 家族 (当事者別数の統計調査目的の為)

<事務局連絡用に全ての項目を記載してください>

- ※ 該当する□にレ印をつけてください
- ※ 3. および4. の住所等において会員名簿発行時に掲載を希望しない項目は、各項目の [] に×印をつけてください
- ※ FAXまたは郵送にて協会事務局までお送りください (必要事項が記載されていない場合は他の用紙でも受け付けます)
- ※ メールニュースについては協会HPをご覧ください。
- ※ ご登録 (ご記入) 頂いた個人情報は、本協会の運営および必要な連絡以外には使用しません。また、個人情報は本協会が厳重に管理いたします。詳しくは協会HPをご覧ください。

あなたもリハ工学協会に参加しませんか

日本リハビリテーション工学協会は1986年に任意団体として発足し、2010年に社団法人を設立し2012年に完全移行いたしました。発足以来、さまざまな障害のある人々に対し、自立の促進とQOL向上を目指した工学的支援技術を開発・普及させるとともに、この技術を通じて学術・文化・産業の振興に寄与することを目的としています。本会は、この目的に賛同する個人および団体によって構成されています。

当協会の主な活動は、毎年8月に開かれるリハ工学カンファレンス、年4回発行される協会誌、福祉機器コンテスト、そしてSIG(Special Interest Group)による分科会活動から成り立っています。リハ工学カンファレンスは神戸で第1回大会を開催してから全国各地で33回の開催を重ねてきました。通常の学会とは雰囲気の違い、リハ工学の研究者や支援技術の実践者だけでなく、当事者であるユーザーや中間ユーザーであるセラピストやケアスタッフからの発表もあり、活発な質疑応答が発表後のイブニングセッションでも続けられます。協会誌は今年の8月で通巻110号となりましたが、編集委員会で毎回テーマに沿った特集を組み、その分野の第一人者に寄稿いただくとともに、研究報告、大会報告などを加えた充実した内容となっています。福祉機器コンテストは今年で30回目を迎えますが、リハ工学に関連する企業からの協賛をいただき、機器開発部門と学生部門に分かれて全国に応募を呼びかけています。福祉機器を開発している企業、個人、そして授業や課外活動で自助具などを制作している学生達のユニークな作品が集まっています。SIGは車椅子や姿勢保持など10の専門分科会からなり、カンファレンスの開催前後に講習会などを開催し、支援技術の普及活動を展開しています。

以上のような本協会の活動に共感され、リハ工学や支援技術の分野を深く学びたい方、ご自分の実践されてきた活動を発表したい方は、ぜひ本協会に入会され、多くの協会員とともに情報を共有し、これからのリハビリテーション工学の世界を切り開いていきましょう。

2018年9月

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長 沖川 悦三

あなたもリハ工学協会に参加しませんか

日本リハビリテーション工学協会は1986年に任意団体として発足し、2010年に社団法人を設立し2012年に完全移行いたしました。発足以来、さまざまな障害のある人々に対し、自立の促進とQOL向上を目指した工学的支援技術を開発・普及させるとともに、この技術を通じて学術・文化・産業の振興に寄与することを目的としています。本会は、この目的に賛同する個人および団体によって構成されています。

当協会の主な活動は、毎年8月に開かれるリハ工学カンファレンス、年4回発行される協会誌、福祉機器コンテスト、そしてSIG(Special Interest Group)による分科会活動から成り立っています。リハ工学カンファレンスは神戸で第1回大会を開催してから全国各地で33回の開催を重ねてきました。通常の学会とは雰囲気の違い、リハ工学の研究者や支援技術の実践者だけでなく、当事者であるユーザーや中間ユーザーであるセラピストやケアスタッフからの発表もあり、活発な質疑応答が発表後のイブニングセッションでも続けられます。協会誌は今年の8月で通巻110号となりましたが、編集委員会で毎回テーマに沿った特集を組み、その分野の第一人者に寄稿いただくとともに、研究報告、大会報告などを加えた充実した内容となっています。福祉機器コンテストは今年で30回目を迎えますが、リハ工学に関連する企業からの協賛をいただき、機器開発部門と学生部門に分かれて全国に応募を呼びかけています。福祉機器を開発している企業、個人、そして授業や課外活動で自助具などを制作している学生達のユニークな作品が集まっています。SIGは車椅子や姿勢保持など10の専門分科会からなり、カンファレンスの開催前後に講習会などを開催し、支援技術の普及活動を展開しています。

以上のような本協会の活動に共感され、リハ工学や支援技術の分野を深く学びたい方、ご自分の実践されてきた活動を発表したい方は、ぜひ本協会に入会され、多くの協会員とともに情報を共有し、これからのリハビリテーション工学の世界を切り開いていきましょう。

2018年9月

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長 沖川 悦三

あなたもリハ工学協会に参加しませんか

日本リハビリテーション工学協会は1986年に任意団体として発足し、2010年に社団法人を設立し2012年に完全移行いたしました。発足以来、さまざまな障害のある人々に対し、自立の促進とQOL向上を目指した工学的支援技術を開発・普及させるとともに、この技術を通じて学術・文化・産業の振興に寄与することを目的としています。本会は、この目的に賛同する個人および団体によって構成されています。

当協会の主な活動は、毎年8月に開かれるリハ工学カンファレンス、年4回発行される協会誌、福祉機器コンテスト、そしてSIG(Special Interest Group)による分科会活動から成り立っています。リハ工学カンファレンスは神戸で第1回大会を開催してから全国各地で33回の開催を重ねてきました。通常の学会とは雰囲気の違い、リハ工学の研究者や支援技術の実践者だけでなく、当事者であるユーザーや中間ユーザーであるセラピストやケアスタッフからの発表もあり、活発な質疑応答が発表後のイブニングセッションでも続けられます。協会誌は今年の8月で通巻110号となりましたが、編集委員会で毎回テーマに沿った特集を組み、その分野の第一人者に寄稿いただくとともに、研究報告、大会報告などを加えた充実した内容となっています。福祉機器コンテストは今年で30回目を迎えますが、リハ工学に関連する企業からの協賛をいただき、機器開発部門と学生部門に分かれて全国に応募を呼びかけています。福祉機器を開発している企業、個人、そして授業や課外活動で自助具などを制作している学生達のユニークな作品が集まっています。SIGは車椅子や姿勢保持など10の専門分科会からなり、カンファレンスの開催前後に講習会などを開催し、支援技術の普及活動を展開しています。

以上のような本協会の活動に共感され、リハ工学や支援技術の分野を深く学びたい方、ご自分の実践されてきた活動を発表したい方は、ぜひ本協会に入会され、多くの協会員とともに情報を共有し、これからのリハビリテーション工学の世界を切り開いていきましょう。

2018年9月

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長 沖川 悦三